

当院にて小児期に発症する精神神経疾患でご加療中の方へ

当院では「小児期に発症する精神神経疾患における臨床評価指標及び神経心理学的指標の後方視的検討」という研究を行っております。この研究では、過去の患者さんのデータを用いて、診断基準の作成や脳機能障害の研究に役立てようとしています。

【研究課題】

小児期に発症する精神神経疾患における臨床評価指標及び神経心理学的指標の後方視的検討 審査番号 2124-(6)

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科・脳神経医学専攻 こころの発達医学

研究責任者 江里口陽介・こころの発達医学・助教

担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【研究期間】

2006年4月1日から2022年3月31日

【対象となる方】

2006年4月1日から2022年3月31日に当院こころの発達診療部を受診した、小児期に発症する精神神経疾患と診断された方

【研究の意義】

小児期に発症する精神神経疾患には症状に大きな重なりがあり、明確な診断をつけることが困難なことが少なくありません。また疾患の基盤にある脳機能障害については、完全には理解が進んでおりません。私たちは臨床評価指標や神経心理学的指標を組み合わせることにより、臨床の場において使用できる診断基準を作成できるのではないかと考えられます。

【研究の目的】

現在使われている基準による診断を考慮に入れた上で、過去の患者さんのデータを用いて、分類基準と診断基準を作成します。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている臨床評価指標及び神経心理学的指標などのデータ（CARS, 改訂行動質問票, YGTSS, チック症状自己記録, チックを出す前の感じについての質問, NIMH-OCS, WISC, WAIS, GAF, 子供の行動チェックリスト, SCQ, ADHD-RS, 感覚現象簡易調査票, 振り返り表★研究利用する試料・情報の項目をご記載ください）を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの情報・データ等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において江里口陽介（管理責任者）が、鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

★この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2022 年 3 月 31 日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で、学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、東京大学大学院医学系研究科・医学部こころの発達医学分野金生研究室の運営費から支出されています。

○本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

2022 年 1 月

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院こころの発達医学 助教 江里口陽介

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-5800-8664（内線36909） FAX：03-5800-8664

Eメールでのお問い合わせ：kokoro-office@umin.ac.jp